

競 技 注 意 事 項

1. 規則について

(1) 本大会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項・本競技注意事項により実施する。

2. ナンバーカードについて

(1) 当日、競技者インフォメーション(TIC)にて、ナンバーカードとプログラムを配布する。ナンバーカードは、競技を行う際に着用するユニホームまたは T シャツ等の胸と背に、そのままの大きさを四隅を安全ピンでとめる(全種目)。

(2) トラック競技出場者には、招集時に腰ナンバー(写真判定のために使用)を貸与する。(リレーは第4走者のみ) 右腰やや後ろに取り付ける。競技終了後、フィニッシュライン付近の箱に返却する。

3. 招集について

(1) 選手招集は、トラック競技・フィールド競技ともに、100mスタート地点横で行う。

(2) 招集時刻は、その競技の開始時刻を基準として、下記のように行う(タイムテーブル参照)。

	種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	予選(1~8組)	30分前	20分前
	(9組~)	20分前	10分前
	予選のない決勝(タイムレース)	30分前	20分前
	決勝	20分前	10分前
フィールド	決勝(走幅跳)	40分前	30分前
	決勝 (走高跳、ジャベリックボール投)	30分前	20分前

(3) 代理人による招集は一切認めない。

(4) 個人種目と同時にリレーにも出場する場合は、事前にその旨を競技者係に申し出て競技に参加する。

(5) リレー競技に出場するチームは、**招集完了時刻60分前までに**(タイムテーブル参照)オーダー用紙を競技者係へ提出する。(オーダー用紙は招集所で競技者係から受け取る。) **遅れた場合は競技に出場できない。**

また、一度提出したオーダーは、主催者の任命した医務員の判断が無ければ変更を認めない。

(6) 招集に遅れた場合は競技に出場できないので、時刻を厳守する。

(7) 招集場所へは、競技に出場する際のナンバーカードをつけた T シャツ等を着用し集合する。

4. 競技方法について

(1) トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載の順とする。

(2) トラック競技の決勝の組み合わせ及びレーン順は本部にて公正に抽選し決定する。発表は掲示による。

(3) スパイクシューズは使用することができるが、ピンは全種目全天候性走路用9mm以下を使用する。

(4) 50m、60m、100m、60mH、80mH、4×100mR第1走者のスタートはクラウチングスタートでもスタンディングスタートでも構わない。スターティングブロックは男女とも5年生、6年生100mの決勝のみ使用できる。使用する場合はセッティングを速やかに行うこと。

スターターの発声は日本語で行う。

※スタートに関するルールは全国大会に準じる。

同一人が2回不正スタートした場合は失格とする。
ただし、競技には参加させ、記録は参考記録とする。

(5) ハードル競技は以下の規格により行う。

種目	スタート~第1ハードル	高さ	インターバル	台数	最終ハードル~フィニッシュ
60mH	12m	60cm	6m	7台	12m
80mH	13m	70cm	7m	9台	11m

(6) 800m以外のトラック競技の場合、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走り、他のレーンに入らない。

(7) 800mのスタートは、オープンで行う。

(8) リレーのメンバー編成は申込時のメンバーで構成する(競技規則第170条10は適用しない)。

(9) リレーにおける第1、第2、第3走者はテイクオーバーゾーン内でバトンパス完了後も自分のレーンにとどまる。そ

の後、競技役員の指示により走路外に出る(危険防止のため)。マークは各チームで用意し、レース後、前走者が必ず取り外す。

(10)リレーチームは同じユニホームを着用のこと。

(11)男女とも800m、60mH、80mH、4×100mRは決勝のみとし、タイムレースで順位を決定する。男女とも1年50m、2年50m、3年60m、4年60m、5年100m、6年100mは予選の上位記録8名を決勝進出者とする。同記録がありレーンが不足するときは、抽選を行う(同じ組の場合は順位を優先する)。その際は、場内アナウンスにより呼び出しをするのでアナウンス後、速やかに本部に来ること。指定された時刻までに来なかった場合はその権利を放棄したものとす。

(12)走高跳のバーの上げ方は以下の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	
男子5年、6年	0m90	0m95	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以後、最後の1人になるまで3cmきざみ
女子5年、6年	0m90	0m95	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以後、最後の1人になるまで3cmきざみ

(13)走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とする。マットへの着地は足裏とし、背・腰からの着地は無効試技とする。

(14)男女とも5年、6年走高跳の第1位決定のためのバーの上げ下げは2cmとする。

(15)走幅跳、ジャベリックボール投は3回の試技で順位を決定する。

(16)ジャベリックボール投はやり投ピットで行い、投てき角度はやり投と同じとする。助走距離は15m以内でスパイクを使用してもよい。ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにす。羽だけを持って投げることは禁止する。

(17)ジャベリックボール投は、**連続3回の試技**を行う。

(18)本競技会(練習を含む)で使用する用器具は主催者が用意したものを使用する。

5. 練習について

練習は第2コーナー出口外の練習場もしくは14時50分まではバックストレートが使用できる(ハードル練習は、タイムテーブル参照)。指導者が必ずつき、安全に行い、逆走したり走路にとどまったりしないこと。

6. 抗議について

抗議はチームの公式な代表者から口頭で競技者インフォメーション(TIC)に申し出る。該当種目の結果の正式な発表後、30分以内に行われなければならない。ただし、次のラウンドが行われる競技では、結果の正式な発表後15分以内に行われなければならない。

7. 表彰について

各種目1位～8位に賞状を授与するので、メインスタンド下中央に集合する(競技終了おおむね30分後)。

8. 競技場使用規定(競技場使用上の注意)

(1)競技場および公園内は、大切にきれいに使用する。

(2)グラウンド内は、運動靴又はスパイクシューズを使用する。また、グラウンド以外(スタンド・ダッグアウト・大会本部・アスファルト舗装面等)は、スパイクシューズの使用を禁止する。

(3)ゴミは各自持ち帰ること。また、競技場近辺やコンビニ、駅等に捨てていかない。

9. その他

(1)競技中の事故については、主催者が応急処置を行うが、責任は負わない。

(2)貴重品等は各自・各チームにて管理し、盗難・置き引き等を十分注意する。

(3)記録証は希望者に1枚300円で発行するので競技者インフォメーション(TIC)に16:00までに申し出る。

(4)届けられた拾得物については、競技者インフォメーション(TIC)で保管します。保管期間は競技会終了時までとし、以降は大井スポーツセンター管理事務所で管理する。

(5)更衣室へは私物を置かないこと。また、選手の待機場所として使用しないこと。

(6)競技運営システムに支障をきたすことがあるので、競技場内及びその周辺でゲーム機の使用は控える。

(7)大会運営、競技に関する不明な点は競技者インフォメーション(TIC)へ問い合わせのこと。

プログラムに記載ミス(氏名、フリガナ、学年、所属)等があった場合は9時00分(遅くとも出場する競技の1時間前)までに競技者インフォメーション(TIC)へ申し出ること。競技終了後の訂正(賞状及び記録証の訂正を含む)は認めない。 ※申込データをそのまま使用しています。